

## オーストラリア 青果物業界の代表団が日本を訪問

[FreshPlaza](#) 2024年3月6日

2024年3月6日から8日まで、オーストラリアの主要な果実・野菜生産・出荷業者の代表団が日本を訪問し、増大する市場機会と日豪両国の青果物産業の協力関係の一層の強化について議論する。

今回の訪問は、2022年12月の最初の訪問とその際に開催された第1回日豪青果物交流会の成功に続くものである。

オーストラリア青果物連盟 (AFPA) のクレア・マクレランドCEOは、「オーストラリアと日本の関係は、世界一とは言わないまでも、アジアにおいて最も緊密で成熟したパートナーシップの1つである。我々は互いの専門性と知識を非常に尊重しており、オーストラリアと日本の生産者にとって最良の結果をもたらすよう、日本の関係者との関わりを引き続き強化していきたいと考えている」と言う。

2日間の現地訪問中、代表団は日本の業界関係者を伴って生産現場を訪問し、日本の様々な輸入業者との昼食会を開催するとともに、駐日オーストラリア大使と会談する。

マクレランド氏は、「日本の農業は、オーストラリアが直面しているのと同じ多くの課題を共有していることを我々は知っている。労働力不足、生産コストの上昇、貿易機会へのアクセス等の共通の課題について、日本の主要な業界団体や関係者らとの対話を継続することを楽しみにしている」と述べた。

日本は現在、オーストラリアの青果物の最大の市場の1つであり、オーストラリアからの生食用ブドウ、柑橘類、アボカド、サクランボ、メロンの輸出額は1億3,400万豪ドルに上る。(1豪ドル=約98円)

マクレランド氏は「我々の業界は、日本との双方向の貿易を成長させる真の機会を見出している。日本市場との距離が比較的近いことや、日本国内とは季節が逆転した農産物を供給できることなど、オーストラリア産農産物には日本市場における様々なメリットがあることを我々は知っている。

また、日本のカウンターパートの話から、より多くの日本産農産物をオーストラリアに輸出するための市場機会を探ることに日本側が強い関心を持っていることも理解している。オーストラリアと日本の緊密な関係を考えると、双方向の貿易拡大に向けて協力することは真のチャンスである」と述べた。

オーストラリアの農業界は海外貿易の拡大に意欲的であるにもかかわらず、生産者に対するより良い支援に関する政府の取り組みや人々の議論は、現在のところ国内の競争問題や調査に固執している。AFPAは、国内での競争を改善するための主要な解決策は、技術的な市場アクセスと貿易機会の改善を支援することであると概説している。

マクレランド氏は、「生産者が有力な輸出市場を利用できるようになれば、国内での交渉力が向上し、消費者にとっては農産物価格が安定し、より持続可能な青果物産業の支援になることを我々は承知している。オーストラリアの生産者にとって国内の競争を改善するための最善の解決策の1つは、連邦政府が農水林業省内のリソースの投入と、貿易成果の改善に焦点を当てたハイレベルな政治的関与を組み合わせることで、業界の輸出市場へのアクセス改善に注力することである」と語った。